



こもろ

市議会だより

3月定例会

No. **188**
令和3.5.12



スポーツ雪合戦「市村キャノン砲」の皆さん

令和3年度 予算を可決



小諸市議会HP

主な内容

- 3月定例会の概要 …………… 2～4ページ
- 一般質問 代表質問（7名）
個人質問（10名）… 5～15ページ
- ぼいす・傍聴席・編集後記 …………… 16ページ

令和3年度当初予算を可決

コロナ感染拡大対策に万全を期し、中長期的な課題へ対応

3月定例会の概要

期間：2月18日から3月23日まで（34日間）
議案：令和3年度小諸市一般会計予算ほか全45議案
結果：全議案を可決（承認・同意を含む）

令和3年度一般会計 予算審議

予算概要

令和3年度一般会計予算は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市税収入等の大幅な減収が見込まれることから、新規事業の凍結、継続事業については、原則として前年度予算額を上限とするなど大変厳しい予算編成となりました。

予算規模は182億8千万円で前年度比4億2千万円、2.4%の増となりました。詳細は『広報こもろ4月号8・9ページ』をご覧ください。

問 質 疑
答 弁

病児病後児保育施設（こもろスマイル園）委託料

委託料の積算根拠及び費用のメリット、利用対象者についてはどうか。

こもろ医療センターへ委託し、1日の定員が6名で、基準により保育士2名と看護師1名を配置する経費が主なものである。経費は増えるが、子育て世代をしっかりと支えるという面で必要な経費と考

える。利用対象者は小諸市に住所または勤務先を有する者となる。

ICT教育の推進について課題はあるか。

昨年10月に全ての小中学校の児童生徒に1

人1台の情報端末の整備が完了し、また各学校の無線LANの工事が2月に全て終了したので、本格的に活用していくのは新学期からとなる。

今後は先生方の研修をしていく予定で、先進地域の取組みなど情報収集し、取り入れていきたい。

減額の理由はなにか。

また、具体的サービスはなにか。

減額は、高齢者タクシー利用助成事業の廃止と、高齢者福祉センター委託料で、現在の委託料には水道光熱費が含まれているが、新しい施設では市の直接支出となり、その分が減額され、さらに新しい施設の備品購入費が増額分として合算された額になっている。サービスは、糠塚園で行っている様々な運動教

室を、新しい施設ではさらに充実させていきたい。

改良工事費500万円の内容はなにか。

複合型中心拠点誘導施設（こもテラス）には地下駐車場と1階駐車場で約110台程度の駐車ができる予定だが、複合施設を利用する際に、西側駐車場も利用すると思われるので、利便性を考慮し、西側駐車場の階段入口部分の改良工事を見込んでいる。

業務委託料として土壌検査を行うが、ブランド化を図る上で、どう活かしていくのか。

土壌検査は、小諸の土壌の生物性が他に比べ突出して高く、農産物の品質の良さに繋がっている科学的根拠として活用していきたいと考えている。

◆掛川委員ほか1名から一般会計同和関連予算の修正案（否決）
一般会計の総額は変えずに、同和団体等への委託金、補助金等を削除し、予備費とするもの。

賛成討論・早川委員
日本共産党議員団は、同和差別はあらゆる人権差別の中にあくまで一つの事象として捉え、特別扱いすることなく、差別解消の方策を講じるべきで、同和団体への多額の補助金等の削減を毎年提案している。人権教育が同和問題に特化されることにより、逆差別を生み、真の同和差別解消につながらない。

反対討論・土屋委員
同和問題については、当事者の主体的な活動が不可欠であり、部落差別が依然として残る社会であることから、差別を受けても負けない、差別撤廃に向けて力強く生きる

農産物ブランド化事業
業務委託料として土壌検査を行うが、ブランド化を図る上で、どう活かしていくのか。

土壌検査は、小諸の土壌の生物性が他に比べ突出して高く、農産物の品質の良さに繋がっている科学的根拠として活用していきたいと考えている。

複合型中心拠点誘導施設（こもテラス）には地下駐車場と1階駐車場で約110台程度の駐車ができる予定だが、複合施設を利用する際に、西側駐車場も利用すると思われるので、利便性を考慮し、西側駐車場の階段入口部分の改良工事を見込んでいる。

業務委託料として土壌検査を行うが、ブランド化を図る上で、どう活かしていくのか。

土壌検査は、小諸の土壌の生物性が他に比べ突出して高く、農産物の品質の良さに繋がっている科学的根拠として活用していきたいと考えている。

複合型中心拠点誘導施設（こもテラス）には地下駐車場と1階駐車場で約110台程度の駐車ができる予定だが、複合施設を利用する際に、西側駐車場も利用すると思われるので、利便性を考慮し、西側駐車場の階段入口部分の改良工事を見込んでいる。

業務委託料として土壌検査を行うが、ブランド化を図る上で、どう活かしていくのか。

土壌検査は、小諸の土壌の生物性が他に比べ突出して高く、農産物の品質の良さに繋がっている科学的根拠として活用していきたいと考えている。

複合型中心拠点誘導施設（こもテラス）には地下駐車場と1階駐車場で約110台程度の駐車ができる予定だが、複合施設を利用する際に、西側駐車場も利用すると思われるので、利便性を考慮し、西側駐車場の階段入口部分の改良工事を見込んでいる。

業務委託料として土壌検査を行うが、ブランド化を図る上で、どう活かしていくのか。

土壌検査は、小諸の土壌の生物性が他に比べ突出して高く、農産物の品質の良さに繋がっている科学的根拠として活用していきたいと考えている。

複合型中心拠点誘導施設（こもテラス）には地下駐車場と1階駐車場で約110台程度の駐車ができる予定だが、複合施設を利用する際に、西側駐車場も利用すると思われるので、利便性を考慮し、西側駐車場の階段入口部分の改良工事を見込んでいる。

業務委託料として土壌検査を行うが、ブランド化を図る上で、どう活かしていくのか。

土壌検査は、小諸の土壌の生物性が他に比べ突出して高く、農産物の品質の良さに繋がっている科学的根拠として活用していきたいと考えている。

3月定例会概要

問 水道事業会計予算
予算の不足分は企業
ため、素地づくりとして、その活動を支援する運動団体への補助金等は適切であり、令和3年度一般会計予算は、人権等を尊重した予算内容である。

令和3年度特別会計 予算審議

後期高齢者医療特別会計 予算

問 今後、高齢者は増加していくと考えられるが事業運営にあたり繰入金等が増え、将来的な不安はないか。

答 対象人口については、数年後に団塊の世代が全て後期高齢者になるため、小諸市の場合3〜5年は増加が続き、繰入金も増えていくと思われるが、将来的には後期高齢者の人口も減っていくと予想され繰入金も落ち着くと想定される。

債を借りているのとこのだが、水道料金の値上げについては今のところ心配ないか。

答 現状で料金改定の予定はないが、試算では40年後は水道料金を1.8倍にしなければ採算が合わない。急に1.8倍にするのではなく、段階的に料金を引き上げ、水道事業の現状を市民の皆さんに説明しながら、ご理解いただけるようにしたい。

令和2年度一般会計 補正予算審議

農地農業用施設単独災害 復旧事業

問 災害復旧工事について繰越明許費補正となっているが、水田の復旧状況について見通しはどうか。

答 概ね耕作が可能な状況となったが、一部どうしても作付けできない方には、承諾を得た

うえで、繰越をお願いした。

「繰越明許費」とは

歳出予算の経費のうち、その性質上又は予算成立後の事由に基づき、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、予算の定めるところにより、翌年度に繰越して使用する経費をいいます。

条例審査

【総務文教委員会】

◆職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例（防疫作業等に手当を支給する改正）

問 どういう事態を想定したものか。

答 感染者が出た場合、防護服を着用するなどして、緊急に行なわれ

る措置などを想定したものである。

◆小諸市複合型中心拠点誘導施設条例（建設中の複合型施設、通称こもテラスの設置・管理条例）

問 それぞれの施設の管理運営は、条例や要綱等を別途定めるとのことだが、協定の締結は行われるのか。

答 条例や要綱等は施設の設置を定めるもの。民間に業務委託するものは、業務委託契約書を締結する。テナントはテナント契約をそれぞれ締結する。



こもテラス外観

◆小諸市営有料駐車場条例の一部を改正する条例（市営第2・3駐車場

場を4月1日から無料化するもの）

質疑・意見等はなく、審査の結果、原案のとおり可決した。

◆佐久広域連合規約の変更（佐久広域連合が設置している「血液保管所」の廃止と「食肉流通センター」の廃止に伴い所要の改正を行うもの）

特筆すべき質疑・意見等はなく、審査の結果、原案のとおり可決した。

【市民福祉委員会】

◆小諸市市民活動・ボランティア（こもテラスに移転することに伴う）条例の一部を改正する条例

問 現在利用者は、ボランティアセンターの二階を会議室として無料で使用することができると、移転後はどのように対応していく予定か。

賛否が分かれた議案の表決結果

本欄に記載以外の議案については全会一致で原案可決されました。○は賛成、×は反対をあらわしています。議長は、表決に加わりません。 ※は議長

議案名	会派名・議員名 (空欄は無所属)																			
	市誠会			創正会			あらい風		日本共産		公明党		子ども	かけはし						
	山浦利夫	丸山正昭	小林一彦	高橋公	相原久男	田中寿光	竹内健一	中村憲次	神津眞美子	掛川剛	早川聖	土屋利江	柏木今朝男	小林重太郎	高橋充宏	田邊久夫	福島鶴子	楚山伸二	清水喜久男	
令和3年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	※

答 こもテラスの二階や交流センターの利用を
お願していく。令和3
年度は、交流センター
が新型コロナウイルス
ワクチンの接種会場と
なるので、利用できな
い時期は人権センター
等、他の施設を案内し
たい。

**◆小諸市高齢者福祉セン
ター（こもテラスに移
転することに伴う）条
例**

問 高齢者福祉センター
の浴室利用を、1日200
円と決めた根拠はなに
か。

答 市で定める公共施設
の使用料設定基準に基
づき、光熱水費等の経
費の50%を負担してい
ただくのが適当と判断
し計算したものだ。また
高齢者約400人を対象と
したアンケートの結果、
200円以上の利用料が適
当であるとの回答が半
数を占めたためである。

**◆小諸市新ごみ焼却施設
建設及び運営事業の運
営業務委託契約の変更
契約の締結について
（増加するごみの量に
対応するため、クリー
ンヒル小諸の稼働日数
を増やすことに伴う変
更契約）**

問 今後ごみが減少した
場合、減額の契約をす
るのか。その場合、稼
働日数の増加に伴い、
新たに雇用した委託先
の労働者への保障はど
うするのか。

答 今後は5年を目途に
契約の見直しを検討し
ている。処理量の推移
を見ながら、適正な人
員配置により無理が生
じないように、委託先に
依頼していく。

【産業建設委員会】
**◆小諸市水道事業の設置
等に関する条例の一部
を改正する条例（菱野
簡易水道事業の計画変
更に伴う改正）**

問 改正後の菱野簡易水

道の数値は、改正前に
比べて給水人口は減少
しているが、1日最大
給水量は増加している。
その根拠はなにか。

答 給水人口は、小諸市ま
ち・ひと・しごと創生総
合戦略による将来人口の
予測を参考に給水人口を
算出した結果である。1
日最大給水量については、
1日平均給水量を負荷率
で除して得た数値であり、
現状にあった数値と確認
して提案したものである。

人 事

1名の公平委員会委員
の任命について提案があ
り、同意しました。

・柳澤 良美氏(富士見平区)

議会だよりでは、定例
会の内容の一部を掲載し
ています。詳細を知りた
い方は、ホームページも
しくは議会事務局までお
問い合わせください。

請願・陳情の審査結果

種類	件名	氏名	結果
陳情	乙女湖公園のテニスコートの整備を求める陳情	小諸市テニス協会 輪湖 恒彦	採択
陳情	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情書	佐久地区労働組合連絡会 小林 嘉孝	趣旨採択

6月定例会の予定（6/1～25）【傍聴をお待ちしております】

月	火	水	木	金	土	日
	6/1 9:30～ 本会議 (提案説明等)	2	3	4	5	6
7	8	9	10 9:00～ 本会議 (一般質問)	11 9:00～ 本会議 (一般質問)	12	13
14 9:00～ 本会議 (一般質問) 予算決算委員会	15 9:00～ 本会議(観覧席) 総務文教委員会 ・分科会	16 9:00～ 市民福祉委員会 ・分科会	17 9:00～ 産業建設委員会 ・分科会	18	19	20
21	22 9:00～ 予算決算委員会	23	24	25 9:30～ 本会議 (委員長報告等)	26	27

* 予定のため変更になる場合があります。
詳しくは議会事務局22-1700(代)へお問い合わせください。

傍聴される皆様へお願い
(新型コロナウイルス感染予防)

次のことにご配慮をお願い
します。
・マスクの着用をお願いします。
・傍聴席に着く前に、備え付
けのアルコール消毒液で手
の除菌をお願いします。
・発熱などの症状がある方や、
体調のすぐれない方は、傍
聴をご遠慮ください。
※傍聴席は間隔を確保してお
掛けください。
※状況により、日程等の変更
となる場合がありますので
ご了承ください。

一般質問

代表質問7名
個人質問10名

一般質問とは、議員が「市政が市民のために適切に行われているか」を質すために行うものです。代表質問と個人質問があります。

代表質問は、会派所属議員が会派を代表して質問するもので、3月・9月及び市長の改選後初の定例会で行われます。

個人質問は、各議員個人が質問するものです。

今定例会における個人質問は、「一括質問一括答弁方式」か「一問一答方式」のどちらかを議員が選択して、質問しています。

また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、質問時間を1人あたり20分の短縮を図りました。



積極的PCR検査で無症状感染者の発見を

日本共産党 代表 掛川 剛

質問

新型コロナウイルス感染症対策は積極的なPCR検査により、無症状感染者を探し出し保護・隔離で徹底した封じ込めを図る必要があるが、市の考えはどうか。

市長

感染疑いのある方でも5%の発見率が確立が極めて低いことからPCR検査により感染を完全に封じ込めることは難しい。現在行っている疑いのある方や接触者などを徹底検査し隔離する対策が現実的と考える。

質問

NHK首都圏ナビのデータでは感染者が陽性と判明された時、約2割が無症状だった。長野県のデータでも小諸市の感染者2月3日時点で153人中30人が無症状で小諸市も2割だ。

また年代別無症状感染者は若くて行動半径の広い年代層が多いため感染を広げてしまう。

ノーベル賞を受賞した科学者や専門家が、無症状で感染させるの

が新型コロナウイルスの特徴であり、無症状感染者の発見・隔離を強化すべきと求めているが、無症状感染者に対する市長の考えはどうか。

市長

首都圏などの感染拡大地域ではひとつの方法と考える。

質問

田舎では事情が違うというような答弁だが、これから年度末を迎え、更に暖かくなり人の動きが活発になる。変異ウイルスも加わる第4波が心配だ。無症状感染者対策が重要だが改めて市の考えは。

保健福祉部長

ワクチン接種とPCR検査、マスク・手洗い・密を避ける等基本的な感染対策で対応する。

質問

ワクチンは高齢者優先で実施していくが、無症状感染者の多い若者はいつになるのかわからない。

PCR検査をプール方式で行えば効率よく無症状感染者を発見できる。こういう検査はできないか。

市長

多くの感染者が発生している状況では有効と考えるが、現時点での検査は考えていない。

質問

市の重点施策でこれから迎えるのは長期学校改築計画だが、住民との合意形成をどう図りながら策定していくのか。

市長

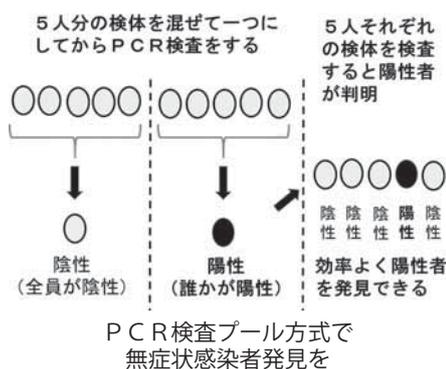
来年度早々に学校教育審議会から答申をいただき、市民に丁寧な説明を行っていく予定。

質問

豊かな自然環境の保全と利活用では、開発の遅れが逆に現代社会の中で求められている環境の先駆性と考えられるがどうか。

市長

小諸の大自然というのは非常に重要ではないかと思う。





持続可能なまちであり続けるために

市誠会 代表 山浦利夫

質問

小諸市が持続可能なまちであり続けるためには、行財政環境の変化に適切な対応ができる行財政運営が重要である。行財政運営の基本的な考え方はどうか。

市長

将来にわたり持続可能な都市であるためには、変化に柔軟に対応する行政マネジメントと強い財政基盤に裏打ちされた着実な施策、事業を展開していく必要がある、これらを基本に進めていく。

質問

少子高齢化、人口減少社会を迎え、今後さらに厳しい行財政運営が想定される中で、現状と課題についてどのように捉えているか。

市長

税収をはじめとする一般財源の減少が見込まれる一方、社会保障関連経費や公共施設の老朽化対策に要する経費の増加が見込まれ、厳しい財政運営を強いられることは避けられない。また、市の行財政に大きなインパクトを持つ公共

施設の総量縮減や有効活用をいかに進めていくかという課題もある。

質問

中期財政計画はどのような内容で策定していくのか。

財政課長

公共施設の老朽化、維持管理費等をその計画の中に落とし込んだ上で予算を編成できるシステムを構築していくものを考えている。

質問

厳しい行財政環境を踏まえ、財政運営上の課題を明確にするために財政分析を行い、中期財政計画に反映させたらどうか。

財政課長

財政分析は非常に重要であり、現在も実施している。今後もより詳細な財政分析を実施した上で今後の予算編成等に役立てていく。

質問

基金や市債に依存した財政構造の回避は最優先事項としているが長期財政需要等から見て大変厳しいと受け止めているかどうか。

副市長

大変厳しいと認識しているが、ふるさと納税や企業誘致などによる税収の確保、また選択と集中の強化、業務改善による生産性の向上など、さらなる経費の節減に取り組んでいく。

質問

公共施設の総量縮減、長寿命化等は避けては通れない大きな課題であり、進めていく上では市民の皆様の理解は不可欠である。直接説明する機会を持つなど、より丁寧な説明を行うていくことが大切だと考えるかどうか。

市長

公共施設の老朽化対策としての複合化、長寿命化への取り組みは今後の財政運営にとって大きな影響が出てくると考えている。

行政だけではなく市民の皆様と一丸となって取り組んでいくことが大事であり、情報を共有しながら、ご理解をいただくことが大変重要だと思っている。

質問

新たな工業団地計画の具体的な検討はどのように進めるのか。

市長

企業誘致を進める上で極めて重要なポイントが競争力の向上であ

り、そのために必要な取り組みが工業団地の整備である。現在、インター小諸工業団地の造成完了に向けて事務を進めており、これと並行して新たな工業団地の用地選定など、基礎部分の検討を始めている。

質問

着実に進めていくには、具体的な検討に入るこの段階から新たな所管を設けることが必要だと考えるが、推進体制の整備はどうか。

市長

用地選定から法的な手続き、また用地交渉などの地権者対応等、かなりの業務量となるので専任の職員は必要だと考えている。インター工業団地の最終整備に向けた取り組みの進捗状況を見極めながら判断していきたい。



「インター小諸工業団地」新工業団地の整備を

代表質問



新型コロナウイルスワクチン接種の準備状況はどうか

公明党 代表 土屋利江

質問

接種の準備状況について、地域医師会との連携とティープフリーザー確保の状況はどうか。

市長

小諸北佐久医師会小諸支部の先方と効率的な接種の方法や接種体制、接種場所を検討した。接種場所は副反応に備えて、浅間南麓こもろ医療センターの近接である市民交流センターを選定した。ティープフリーザーは、国から3台の配布が予定されており1台は設置済みで、4月と5月に保健センターに設置予定である。

質問

接種予約の「コールセンター」の設置はどうか。

保健福祉部長

今月中に外部委託により設置予定で、健康づくり課に委託先の職員を配置する。

質問

住所地以外で接種できる「やむを得ない事情」の方、例えば里帰り出産や遠隔地の学生、単身赴任

者等は市町村への申請が必要だが全国共有クーポンの交付があるのか。

保健福祉部長

原則は住民票の所在地で接種となる。所在地以外で接種を受ける方は事前に接種を受ける市町村に郵送か窓口申請、またはコロナワクチンナビのウェブ申請となる。

質問

高齢者の交通手段の確保や接種会場へ行くことができない方への配慮はどうか。

市長

高齢者の接種は4月以降を予定しているが、交通手段のない方への配慮は現在交通事業者と検討をしている。

質問

基礎疾患を有する方への配慮はどうするのか。

保健福祉部長

基本的には、かかりつけ医と相談していただく。

質問

市民への情報提供と周知はどの

ようにしていくのか。

市長

現段階ではワクチンの供給など不透明な部分が多いため、具体的な周知が進まない状況である。詳細が分かり次第、広報やホームページ、SNS等で情報を提供していく。

質問

県のホームページにワクチンに関する情報が開設されたが、市のホームページ内にワクチン情報の特設ページを載せたらどうか。

保健福祉部長



人口減少対策と、こもテラス運営の今後は？

あたらしい風 代表 中村憲次

質問

市長公約の重点施策である大きな柱の一つ、人口減少対策について今後小諸市の大きな課題でもあるが、移住・定住の具体的な施策の検証と、その成果はどうか。

市長

人口減少対策は多岐にわたっているが移住定住について取り組んでいるところである。移住者につ

現在もコロナウイルスの関連情報はトップページに載せている。ワクチン情報についても今後検討していく。



0570-07-1700

「小諸市新型コロナウイルス接種コールセンター」

いて、現在コロナ禍の為に首都圏の子育て世代をターゲットにした移住体験セミナーができません。残念であるが、移住体験は決定の決め手になる為、今後も実施をしていきたい。定住施策については定住開発支援事業による住宅着工が進み、成果があがっている。市の未利用地が完売となり、また市有地の事業が順調に進んでいる。

質問

転入転出による人口推移から見た人口減少対策の成果はどうか。

産業振興部長

転入と転出の社会増については2016年には17名減、2017年には104名減であったが、2018年には5名増、2020年には7名増とコロナ禍の中プラスに転じており、空き家バンク制度、また宅地開発事業の成果が出たものと考えられる。

質問

複合型中、心拠点誘導施設「こもテラス」オープンにあたり、愛のりくんの高齢者利用促進のための運行形態及び、料金の改善等について、利用者より提言要望等があるが、新規施策の考えはあるか。

建設水道部長

運行時間を従来の9時から8時に変更して実施予定であり、高齢者は午前中の利用者が多いことから、今後利用者増加が期待できる。また料金形態については高齢者福祉センターの施設利用した際には、使用料が割引となる、いわゆるセット割引の回数券等、利用料金のチケット販売も検討していきたい。

質問

「こもテラス」1階に位置する愛のりくんコールセンターは従来の施設との大きな違いについて、改善点とそのメリットはどうか。

建設水道部長

1階の部分は愛のりくんの駐車スペース3台分の縦列駐車が確保でき、利用者にとって乗降の安全性の確保ができる。なお待ち時間は交流スペースでゆっくりとくつろげることがメリットである。

質問

ボランティアセンターが開設になるがメリットは何か。

民生生活部長

高齢者、障がい者、子育て多世代間の幅広い交流、より積極的な活動ができる場所としてボランティアが期待できるものと考えている。



こもテラス外観



コロナ禍・第4波！ 備えは大丈夫か？

創正会 代表 竹内健一

質問

新型コロナウイルス感染症の第4波への備えは大丈夫か。

市長

本市は1月に県内初となる感染警戒レベル5に引き上げ特別警戒2が発出された経過を踏まえ、ワクチン接種後も3密を避け感染予防策（新しい生活様式）の徹底・継続を進めていく。

質問

現在の新たな課題は何か。

総務部長

長野県の情報開示の在り方として、個人情報保護の観点から公開規制遵守の立場も理解はするが、感染拡大を抑え込むには市町村と情報共有のタイミングが重要と捉えており、市長より県に対し情報改善に向けて話を進めている。

質問

今後の事業者への経済対策と地方創生臨時交付金をどのように活用するのか。

市長

経済面における新型コロナウイルス

ルスとの闘いは長期戦にならざるを得ないと見ている。

国からの地方創生臨時交付金2億1千万円余の内示があり、各部署で有効な活用方法を検討している。

質問

コロナ禍において教育行政の取組はどうか。

教育長

1月の感染拡大で子どもたちが濃厚接触者に特定され、感染も確認された。

教育委員会では市中感染が拡大する恐れがあることから冬休みを延長・臨時休業した結果、学校での感染を防ぎ適切な判断であった。学校ではコロナウイルスは誰もが感染する可能性があり、感染した人を責めるのではなく、思いやりの気持ち、治って戻ってきたときには温かく迎えるなど、発達段階に合わせた指導をしている。

外出自粛等によるメンタル面のケアについても、学校全体で家庭と連携して対応している。

代表質問

小諸市16歳以上人口 (令和3年3月31日現在)	
小諸市16歳以上人口	36,879人
A) 医療従事者等	1,258人
B) 高齢者	13,593人
C) 基礎疾患を有する者	2,643人
D) 高齢者施設等従事者	629人
E) 60～64歳の者	2,103人
F) その他の者	16,653人

16歳以上の接種対象者数

市長 SDGsの推進に向けた取組として各施策との関連を明記しており、今後さらに強く意識し進める。

質問 SDGs（持続可能な開発目標）への取組はどうか。

市長 健康都市こもろ・小諸版ウエルネスシティ・サードプレイスとは、人を選ばれる、任んでよかったと思えるまちになるために小諸市のあるべき姿を示した独自の概念と位置付ける。快適で心地よい場所・自分に還れる場所を目指し、総合計画の6つの政策の柱である「子育て・教育、環境、健康・福祉、産業・交流、生活基盤整備、協働・行政経営」をバランスよく展開しまちの魅力に磨きをかける。



コロナ禍、子どもと高齢者への対応は！

子どもと高齢者の笑顔 代表 小林重太郎

質問 会派「子どもと高齢者の笑顔」は理念として『1%の声高き人々が宴に興ずる地域づくりではなく、99%の声なき声に耳を傾けられる地域づくり』を標ぼうしている。今回はコロナ禍において間違いなくその影響が直撃している子どもも、高齢者について、それは恐らく女性や障がい者にも共通するであろう視点をもって、現状および対応を質させていただきます。

市長 コロナ禍において、高齢者の閉じこもりによるフレイル化が危惧される。現在のところ、活動自粛による新規の介護認定申請者数の増加などの影響は見られないが、活動自粛は高齢者のフレイル化への影響が大ききことから、健康達人クラブや各区で行われている介護予防事業について、感染対策には十分配慮の上、再開をお願いしたい。

子どもと子育て家庭の状況と対応はどうか。

教育長 コロナ禍において、保育園では中止したり、縮小、制限した活動や行事もあつたが、見直したり、やり方や目先を変えて取り組んできた。ご家庭においても、親子の時間を大事にしていたこと、子どもたちの心の成長を実感している。

学校の状況では、臨時休業により学習の遅れが心配されたが、夏休みを10日間ほど短縮したことや現場の創意工夫により、現在では例年と変わらない学習進度となっている。

また経済的な影響により世帯収入の減少が見込まれる場合には、ご相談いただけるよう、7月には再度就学援助制度の案内を全保護者あてに実施した。

質問 新年度の就学援助の通知は、例年の通りにとどまることなく、必要な方はぜひご相談くださいと強く訴えるものを出すべきではないか。

教育次長 そのようにする。

市長 ひとり親世帯を始めとして、子育ての状況は間違いなく厳しい。昨年のひとり親世帯への一百万円の上乗せ給付はとも評価できるものであると思う。ただ、これにとどまることなく、国と連動しつつも国などにお任せではなく、小諸市としてもひとり親世帯、子育て世帯へのさらなる支援をすべきではないか。

ひとり親世帯の皆さまにも、これまで以上に、経済的なひびく度合いに対応できるような支援ができればと考えている。



ランドセルを買えない子ども達もいる…



コロナ禍克服をめざし「適切な広報」を質す かけはし 代表 福島鶴子

質問 コロナ禍に奔走した一年として見えた課題は何か。

市長 新型コロナウイルス感染症が、感染症法に基づき指定感染症であることから、必要な情報の管理・公表は都道府県が実施。結果として市民が求める情報の発表が出来なかった。

質問 その中でも最善を尽くす対応は必要。市民には、求める情報を的確に誰にでも届く手段で提供することが重要だが、どうだったか。

企画課長 紙媒体の「広報こもろ」はほとんどの家庭に届けられる優れた部分があるが、記事を集め編集・印刷等の過程でタイムラグがあり、迅速という部分が苦手である。

質問 感染症の初期段階では、コロナウイルスやその予防に対し、責任ある立場からの広報が必要であったと思うが、どうであったのか。

企画課長

そうしたことは、非常に初期の段階でしっかりとやっておくべきであり、ホットタイムは少し逸していたかもしれない。

質問

第二段階の広報は、発症者が出た後だが、発生状況を正しく伝えることと個人情報保護のバランスに基準はあったのか。

総務部長

基本的には、市民の知りたい情報の提供だが、個人情報保護の一面から、その都度、会議の中で確認し、広報してきた。

質問

近隣に比して、突出している感染者数をどう分析しているか。

総務部長

主に、接待を伴うところから感染。そこにいた客、従業員、家族に広がったと分析している。

質問

結果論と言ってしまうかもしれませんが、爆発的感染は防げなかったか。兆候への対応はされたか。

総務部長

市内感染者が落ち着いていた。12月25日の対策本部会議でも特別市長のメッセージは出していない。

質問

年末、年始は誰が考えても発生しやすい環境である。危機管理意識の中で、当時自粛の要請をしていたらと考えるがどうか。

市長

飲食店のクラスターに備え、臨時交付金でアクリル板等の設置をやってきたが、有効に機能しなかったことが残念である。

質問

経済は飲食店以外も落ち込んでいて、税の使い方に公平を求める声があるがどうか。

市長

そのことは承知している。今後しっかりと対応したいと考えている。

感染経路を遮断しよう
(新型コロナウイルスは空気感染しません)

感染源とは？
感染症の原因となるウイルスを持っている人やウイルスに汚染された器具や食品

- * 感染源と接触はしない ⇒ 手を洗うしか方法はない
- * 感染源の人のくしゃみや飛沫を浴びない ⇒ 飛沫は2mまで飛ぶ
- * 感染源の人が触ったものに触った手で目や口に触れない ⇒ 一処置一手洗い

マスクも細菌で汚染します。
マスクの外側には触らないようにしましょう！

新型コロナウイルス感染症対策のポイント

本会議をユーチューブで配信しています

小諸市議会の本会議（議案提案と説明、議案質疑、一般質問、議決模様、議長選挙など）を映像で配信しています。

市ホームページ小諸市議会「会議録検索」のユーチューブロゴマークからご覧いただけます。パソコンやスマートフォンで視聴できます。



市HP会議録検索画面



新型コロナウイルスワクチン接種はどうか

田中寿光

質問

集団・個別接種の接種体制はどう構築するのか。

市長

本市においては、当面、集団接種を行うこととしている。集団接種については、小諸北佐久医師会小諸支部の先生方にご協力をいただき、予診の医師4名に対して、接種の看護師2名の組合せで接種を行う予定である。ワクチンの準備や接種後の体調観察を行う薬剤師や看護師、受付けや誘導を行う保健師や事務職員など、総勢25名程度での接種体制を見込んでいます。

また、個別接種についても、先生方の意向やワクチンの供給状況を勘案しながら進めていきたい。

質問

2回接種の必要性から、接種スケジュールはどうか。

市長

本市の65才以上の高齢者はおよそ1万3千人で、全員が接種するのに6週間程度かかる試算をしている。

質問

集団接種会場におけるリハーサル等の予定はあるか。

市長

市民交流センターの下見を行い、国から示された案や、川崎市の事例を基に集団接種会場のレイアウトを作成した。レイアウトに沿って、必要な備品等の調達の準備を行なっている。4月に入り、会場の設定ができたところでスタッフを集めて、接種に係る一連の流れを確認したい。



予防接種にご協力を



施設の移転や統合後の跡地利用計画は

丸山正昭

質問

小諸消防署、中央保育園、荻原保育園、高齢者福祉センター糠塚園、旧観光開発センターの跡地利用計画はどうか。

市長

旧小諸消防署については老朽化が著しく、また耐震基準を満たしていないことから、後利用を進めるのか解体するのかなど今後検討していく。中央保育園・荻原保育園については、別途計画をするが、両保育園の移転後の方針については言及されていない。

また高齢者福祉センター糠塚園においては建物の所有が小諸市社会福祉協議会になっていることから、今後専門家の意見も参考にしながら、方向性を決めていきたいと考えている。

また、旧観光開発センターについては、払い下げに向けて境界確認分筆等を行い、入札に向け準備していきたい。

質問

高校再編後の小諸高校・小諸商

業高校の同窓会館はどのようになるか。

市長

両同窓会館は同窓会に法人格がなく、同窓会としては登記できないため便宜上小諸市の所有となっているが、維持管理等については、全て同窓会が実施しているので、運営に関しては全く関与していないのが実情である。

また、別途工事検討委員会という組織もあるので、譲渡等を行う方法があるのか、今後どのようにしていくのか等について、同窓会と相談しながら検討していきたい。



払い下げ予定の旧観光開発センター



佐久平駅アクセス道路の構想は、「推進中」

高橋 公

質問

佐久平駅アクセス道路については、市民のみなさんに思い出してもらったためにも定期的に一般質問しているが、現在の佐久市との取り組み状況はどうか。

市長

打合せやメールで情報共有を行っているが、具体的なルート選定には至っていないと聞いている。

質問

県との取り組み状況はどうか。

市長

平成30年度から毎年要望を行っている。県からは緊急性も考慮の上、検討したいとの回答だった。

質問

ルート候補地域の埋蔵文化財包蔵地を含む地形図を委託中とのことだが、この事業に対して口開け予算が執行されたのか。

建設水道部長

事業の実現に向けた、初めての予算執行である。

質問

この道路は県道を目指すのか、



「佐久平アクセス道路」のルート案

それとも小諸市、佐久市、それぞれの市道になるのか、あるいは国道を目指すのか。

建設水道部長

佐久市との打合せの中では、道路そのものの維持・管理などを考えると、理想は県道と考えている。

質問

小泉市長の、現時点でのこの事業に対する具体的な考えはどうか。

市長

この道路は、人口減少時代において小諸市を含む佐久平エリアが発展する大きな一因となるので、柳田佐久市長ともしっかり連携を取りながら進めたい。



小中学校の改築再編スケジュールは？

小林 一彦

質問

学校教育審議会において審議されている、小中学校の改築再編についての答申はいつ頃になると想定しているか。

教育長

審議会が自らの審議の進捗状況を見て決定されることではあるが、4月の下旬には答申をいただけるものと理解している。

質問

答申を得た後、基本構想策定までのスケジュール感はどうか。

教育長

これはあくまでも想定だが、5月に市民説明会を開催し、ご意見をいただく機会を持つ予定でいる。

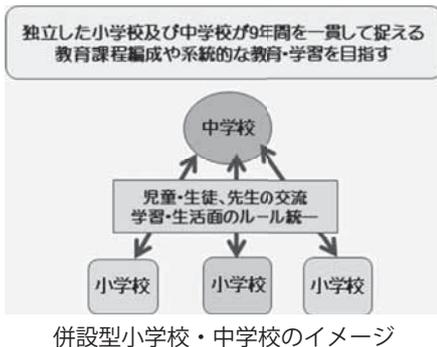
きるだけで理解をいただくというような方向になるのかなと思っている。

質問

市民の関心は、小学校の再編の形に向いているが、その前提としている併設型小学校・中学校導入について市民の理解を得ることが、最初の一步だと思いがいかか。

教育長

小中一貫校がかなり強調されたような形で答申が出てくれば、小中一貫校の言葉の中身がどういうものを指すのか、どういうことをイメージしているのか、しっかりとお伝えをする必要があると思う。



個人質問



市長の「トップセールス」のあり方

楚山伸二

質問

自治体が目指すべき最終ゴールである地域の活性化、そして定住人口増加のためには、若者やファミリー層の定着、流入増加、流出防止が欠かせないが、ウエルネスシティのアピールはこれで十分か。

市長

若者世代にもしっかりとPRができるように取り組んでいきたい。

質問

ウエルネスシティを掲げ、冬場の長い小諸、ましてコロナ禍だからこそ、市民の体力づくり、免疫力増強のための通年型のスポーツ環境整備が必要ではないか。

教育次長

近隣に冬でも使用可能な施設があれば活用してほしい。施設整備をしないということではないが、季節に合わせたスポーツをしてもいいことも重要だと思う。

質問

多くの市民の健康増進のために「やらなければならない」という気持ちがあるのかどうか。



佐久市駒場公園の人工芝テニスコート

市内の政策議論のプロセスの中で、そういう議論があるのか。

企画課長

全部をやめるのではなく、事業の取捨選択、見直しや優先順位付け、新たな事業展開なども議論は毎年している。

質問

若者が周辺自治体へ流出するところがないよう、市長の人脈をフル活用して財源を確保し、市民の期待に応えるという発信がほしい。

市長

できることはやっていくという思いはゼロではないが、今後の公共施設は広域でシェアも必要。



非正規で守られてきた学校給食は民間委託へ

早川 聖

質問

小諸市の自校給食は、地産地消を基本に、食の安全・安心を大切に作られてきている。まさに栄養士、調理員、生産者等の献身的な努力の成果であり、32年前に作り上げられた自校給食の伝統を引き継ぎ、環境の良いとは言えない調理室の中でアレルギー対応等、長年にわたり、美味しい学校給食のために尽力されてきている。

今回、そのベテランの会計年度任用職員の栄養士が、突然、今年度限りの雇用になることは、今後の学校給食にとって、この上ない大きな損失ではないのか。

市長

非正規の形の中で大変長い間、地域食材を取り入れた献立の作成や食材発注、食育、健康教育、アレルギーの子どもへの対応ときめ細やかな対応をしてきていただいた。

本当に皆さんの貢献は非常に大なるものがあると思う。そういった意味では、本当に感謝と敬意を

申し上げたい。長い間勤めていただいた皆さんに失礼があったとすれば、この場をお借りして、本当に申し訳ないとお詫び申し上げます。

質問

小諸市の進める学校給食の民間委託化による問題点として「住民参加や情報公開が疎かになる」「市場経済原理が基本のため業務の質の低下」「安価な賃金、劣悪な労働条件」等が挙げられ、給食の質が下がるのではないか。

市長

公募型プロポーザル方式で運営をしていくので、そのような心配がないように取り組んでいく。



美味しい学校給食は直営で



アフターコロナにおける展望はどうか

田邊 久夫

質問

コロナ以前の市民生活を取り戻すための課題について、どう捉えているか。

市長

コロナ以前の市民生活を取り戻すための具体的な対応方針としては、まずはワクチン接種等感染拡大防止策を強化することだと考えている。その上で、引き続き生活支援、経済対策を並行して実施していきたいと考えている。

質問

地方への回帰の流れの中で、どのような「サード・プレイス」を指すか。

市長

先人から受け継がれてきた恵まれた豊かな自然、長い歴史の中で育まれてきた伝統や文化、人々の絆が本市のサード・プレイスを形成するウェルネス資源であり、これらを活用し、交流人口・関係人口を増やす施策を積極的に展開していきたいと考えている。

質問

大変な状況を過ごした子ども達が、将来に活かせる体験となるような捉え方はできないか。

教育長

こういう特別な中で過ごすことは、普通と違うものをそれぞれに感じていると思う。これは、振り返った時に見えてくるものかと思う。

今渦中にある子ども達はどういう力を付けたり、どのようなことを思っているかというのをまとめめる事はなかなか難しいと思う。まとまらないにしても、おのおの、いろいろなことを学んでいるだろうと思う。



ワクチン接種がアフターコロナのカギ



小諸にもFM局の開設を

高橋 充宏

質問

新型コロナウイルス対策に関する市の情報発信は十分であったか。

市長

新型コロナウイルス感染症は、その発生の状況及び動向、原因の調査や必要な情報の管理、公表は都道府県が実施することと法律に規定されている。よって情報は県が一元的に管理しており、市は県が発表する情報しか知りえない実態がある。このような状況から本意ではないが、結果として市民の皆様が必要としている情報を発表することができない場面があった。

質問

発信の媒体は十分であったか。

市長

現状利用できる媒体で最善の情報発信をしたが、もれなく全ての市民に迅速かつ確実な情報が届いていない実態がある。それに対し、今後も新たな媒体の導入も含め、より多くの市民が情報を得られるように努めていきたい。

質問

情報発信の媒体のひとつにFMラジオがありコロナ禍における情報伝達に留まらず、災害時や日常的な地域の情報伝達に有効と考える。そこで、小諸にもFM局の開設をしたらどうか。

市長

東御や佐久、軽井沢にあり小諸にもFM局があればいいと素直に感じる。しかし、開局にあたり初期投資で1億円以上、開局後も毎月50万円以上のコストを必要とする。また、民間での開設に市が支援をする形もあるが、いずれも超えなければならぬハードルは高く、現時点での実現は難しい。



小諸市とFMとうみ(78.5MHz)の協定



防災・減災対策と避難行動要支援者への対応

柏木今朝男

質問

未だ終息の見えない新型コロナウイルスに加え、地球温暖化の影響による異常気象がもたらす自然災害や地震などが激甚化、頻発化し、複数の災害が同時に起こる複合災害など、今後起こり得る最悪の事態を想定した万全な対策を強化していくことが急務だが、市民の命と暮らしを守るために必要な対策と、今後の課題はどうか。

市長

避難判定行動フローやハザードマップ等を参考に、危険性と避難の必要性の確認が必要であり、感染リスクがある今、避難が課題だ。

質問

近年の大規模災害などにより、多くの高齢者や障害者等の災害弱者が逃げ遅れ、犠牲になるケースが後を絶たず、要支援者の避難の実効性確保は急務だが、避難行動要支援者の避難計画である「個別計画」策定について、国の令和3年度予算案で、作成経費の地方交付税措置やモデル事業の募集も考

えているが、このチャンスを生かし、積極的にスピード感を持った検討をすべきと考えるがどうか。

保健福祉部長

名簿を整備した上で、優先度を考慮して策定を進めたいが、国から詳細が示された後、検討したい。

質問

福祉避難所の指定施設の現状と、全ての要支援者に対応可能なのか。

市長

高齢者福祉施設が28か所、障害者支援施設が1か所であり、妊産婦や乳幼児など全ての方に対応できるよう拡充に加え、ホテル旅館業組合と協定の準備を進めている。



避難グッズ



コロナ禍での市政経営はどうか

神津眞美子

質問

感染症対策は県に権限があり、県主導で行われるが、市民を守る自治体として市民に安心していただける取組が必要だ。迅速で正確な情報発信で、市民も適正な判断に基づき行動ができて、感染予防になると考えるがどうか。

市長

県との情報共有も進んできており、市として対策を行うため、留意しながらも公開できる情報は積極的に提供していきたい。

質問

年末年始の第3波では対策本部会議の内容が職員間で共有されておらず、感染拡大を招いてしまったとの指摘があり、問題だ。その後解決は図られたか。

総務部長

その時点で真摯に反省し、再度の周知徹底を図った。その後は状況の共有が徹底され、先手先手で対応することができている。

質問

今回のコロナ禍は、これまで経

験したことのない感染症との闘いなので、検証して記録に残しておくことが必要と考えるが。

市長

様々な側面から対策を行ってきただとところで、いまだ終息が見通せない状況ではあるが、全体的な検証作業も同時に進めていきたい。

質問

ファイザー社のワクチンは、これまでの他のワクチンに比べて副反応が多く出ているので、丁寧な情報提供が必要では。

保健福祉部長

接種後の副反応についても市民の皆さんに提供していきたい。





ぼいす

第16回

キラキラ★小諸人 スポーツ雪合戦 「市村キャノン砲」の皆さん

和田体育館でスポーツ雪合戦の練習を行う市村キャノン砲の代表田中寛さんにお伺いしました。

Q1 活動を始めたきっかけは何ですか。

8年前に市村の少年野球と女子ソフトボールを子ども達としていた時に「冬場にできるスポーツはないか」と考え、親子で楽しめるこの競技を知ったことがきっかけです。毎年白樺湖で行われる大会へ親と子の2チームで出場し、子ども達は3位と大健闘しましたが、親達は惨敗でした(笑)。

Q2 今は全国大会5年連続出場ですが。

雪遊びがたくて始めた雪合戦でしたが、大会では負けてばかりでその悔しさから奮起し、地元消防団にも声を掛け、メンバー増強と練習や戦術面の工夫を図りました。また、当初小学生だった若い世代が成長して加わってくれることで、我々

おっさん世代もなんとか頑張れています(笑)。

Q3 チーム強化と伴に市村地域力も年々増していますが。

意識して始めた訳ではありませんが、結果として地域の世代間交流や絆作りに繋がっています。昨年は市民活動促進事業補助金を活用して市内小学生向け雪合戦教室を開催し、「小諸キャノン砲イズ」を結成して大会にも出場しました。この活動で私達は子ども達から多くの感動や元気をもらいました。加えて、地域の垣根を超え、市内の子どもの健全育成・体力向上、更には競技普及および市民交流の場ともなりました(感謝です)。

Q4 最後に小諸市民の皆さんに一言。

雪合戦は世代を問わず誰もが気軽に楽しめ、奥が深く、職員研修に取り入れる企業もあるほど、

団結力を深め向上心を高めるチームスポーツです。皆さんも仲間を集め、ぜひ、雪合戦を始めてはいかがでしょうか。



傍聴席



宮沢区 清水 直子 さん

小諸市民になって初めて議会を傍聴しました。議場は市役所の4階にあり、誰でも市長と市議のぶつかり合いを見学できます。事務局の職員も友好的で親しみがありません。

した。コロナ対策もしっかり行われていました。今、市内の保育園、小中学校では、自校給食の体制が変わりつつあります。保育園では、近く民間委託が実施されようとしており、広報等で周知されています。順次中学校でも実施されていく流れのようです。

小諸市の給食は、地産地消で、生産者の顔が見え、温かくて、おいしくて、昼が近づくと、給食室からは食欲をそそるいい匂いが廊下伝いに広がります。おいしい給食は県内でも知られています。それを支えるのは各校配置の栄養士・調理員の細やかな配慮があるおかげだと聞いています。

給食の調理業務委託が取り上げられると聞き、傍聴に行きましたが、議員は実情をよく研究していると感じました。国会の打撃止とまではいかなくても、活発な議論が展開されるよう願っています。

編集後記

18次後期の議会が始まり、広報委員会も新メンバーの構成でスタートいたしました。

昨年当初からコロナ禍で明け、ウイズコロナで暮れた一年でありました。市議会だよりも皆さんへお届けする内容がほぼコロナ一色でしたが、本年も残念ながら令和3年3月議会も議員の一般質問についてはコロナ関連の質問が多くあり、議員も重複質問、行政も答弁対応等に苦慮といったところ、行政・議会ともに、コロナ禍からの脱出ができない現状が

しばらくは続くのではないかと心配しています。ここ一年でコロナ関連の用語が日常会話の定番となっています。

- ① 変異株 ② アナフィラキシー ③ PCR検査体制 ④ クラスター会食 ⑤ GOTOイート等が、なぜか違和感なく通常用語になってきていると感じている今日この頃です。市民の皆さんはいかがでしょうか。早く過去の用語になることを願う毎日です。

(憲)